

# 第49回 千葉県少年野球大会【千葉日報旗大会】

2019年 8月10日(土)・11日(日)・12日(祝)・17日(土)・18日(日) ㊦14日(水)



## 《使用球場》

- ・第一カッター野球場
- ・八千代市営球場
- ・白井運動公園野球場
- ・フクダ電子スタジアム
- ・船橋 高瀬球場(大人用)
- ・鎌ヶ谷市営球場
- ・県軟式野球場
- ・旭市スポーツの森公園
- ・流山総合運動場
- ・下総運動公園野球場
- ・四街道総合運動公園野球場
- ・水と緑運動広場野球場
- ・塚崎運動公園野球場
- ・船橋 高瀬球場(少年野球A)
- ・木更津市営球場
- ・青葉の森野球場
- ・海上コミュニティ球場



## 《参加チーム》

- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| ★愛生グレート(千葉)      | ★オール五井ヤップオーシャン(市原) | ★千代田ファイターズ(柏)    |
| ★今井ジュニアビーバース(千葉) | ★鶴指少年野球部(市川)       | ★トライスター(柏)       |
| ★小中台JBC(千葉)      | ★平川レッドスターズ(市川)     | ★柏ヤングース(柏)       |
| ★泉谷メッツ(千葉)       | ★本塩子ども会野球部(市川)     | ★浦安ベイマリナーズ(葛南)   |
| ★幕張ヒーローズ(千葉)     | ★北国分ヤンチャーズ(市川)     | ★布佐スパイダース(葛南)    |
| ★高須コンドルス(千葉)     | ★富来田ファイターズ(かずさ)    | ★中部ユニオンズ(葛南)     |
| ★習志野台赤トンボ(船橋)    | ★子安クラブスポーツ少年団(かずさ) | ★鎌ヶ谷スラッガーズ(葛南)   |
| ★二和タイガース(船橋)     | ★神納フレンズ(かずさ)       | ★須賀千潮スポーツ少年団(東総) |
| ★夏見台アタックス(船橋)    | ★嶺岡インパルス(安房)       | ★海上マリンキッズ(東総)    |
| ★小栗原ベアーズ(船橋)     | ★小巒ジュニアーズ(九十九)     | ★弥勒少年野球クラブ(北総)   |
| ★大久保フロッグス(習志野)   | ★東金東クラブ(九十九)       | ★成田マリーシアズ(北総)    |
| ★ならしのフレンズ(習志野)   | ★清水タイガース(東葛)       | ★佐倉フレンド(北総)      |
| ★谷津サザナミ(習志野)     | ★常盤平ボーイズ(東葛)       | ★成少フォックス(北総)     |
| ★エースライオンズ(八千代)   | ★野菊野ファイターズ(東葛)     | ★富里Rエンゼルス(印旛)    |
| ★キングファイターズ(八千代)  | ★流山ホークス(東葛)        | ★印旛ブラザーズ(印旛)     |
| ★ちはら台ファイターズ(市原)  | ★前ヶ崎クラブ(東葛)        | ★千葉ヤンキース(印旛)     |

## 《試合結果》

トーナメント表は県HP試合結果に掲示しております。



**優勝 夏見台アタックス**

(船橋地域)

**準優勝 鶴指少年野球部**

(市川地域)

**第三位 海上マリンキッズ**

(東総地域)

**第三位 幕張ヒーローズ**

(千葉地域)



### ★ 夏見台アタックス 主将 井上 舜也(イノウエ シュンヤ)

僕は昨年もこの大会に先輩と一緒に出場し優勝する事ができました。春に全国大会に行けない事が決まった時、絶対に夏の日報杯を連覇したい、と思い取り組んできました。チームのテーマは追い込まれても下を向かない「赤い野球」です。春は決勝戦になると逆に「青い野球」になってしまい、僕もチームの雰囲気を変える事が出来ませんでした。夏に近づくにつれ「赤い野球」が出来るようになり、日報杯では先制されても諦めず逆転できるチームに成長し優勝する事が出来ました。特に最終日は下の学年の応援も僕たちを「赤く」してくれました。何時も支えてくる監督・コーチ、お父さん・お母さんだけでなく、チームの皆に感謝です。



### ★ 夏見台アタックス 推薦選手 山崎 柊太(ヤマザキ シュウタ)

僕がこの大会を経験して強く印象に残った事は、小栗原ベアーズ戦の大事な場面で打てた事です。六回裏二死三塁の状況で周ってきた打席で、ここでヒットを打てれば同点。打てなければ相手にリードされたまま最終回になってしまう、とても緊張感のある打席でした。「打ってやるぞ！」と赤い気持ちで降り抜いたバットは、しっかりボールをとらえてセンターの横を抜ける同点タイムリー三塁打を打つことができ、とてもうれしかったです。

この経験を活かして、大事な場面でヒットを打てるバッターになりたいです。



### ★ 夏見台アタックス 監督 森野 繁(モリノ シゲル)

優勝旗を返還するだけの大会にはしたくない、もう一度優勝旗を持ち帰るという気持ちで臨んだ大会でした。今年はボールが変わったことの影響なのか、守りの野球だけでは勝てない野球に変わった感もあり、もちろん守備も大切ですが、どちらかと言うと打撃の調子のいい選手が活躍する大会であったと感じました。我がチームも打撃好調の選手を中心に積極的に起用したことが勝因だったのかもしれませんが。優勝に驕ることなく、選手たちとともにこれからも精進していきたいと思います。最後に今大会に携われたすべての方々に感謝し、日報杯の振り返りとさせていただきます。ありがとうございました。



### ★ 鶴指少年野球部 主将 内山 諭(ウチヤマ サトル)

僕たちは、数か月前の全日本学童で優勝できなかった悔しさをばねに頑張ってきました。そして、むかえた千葉日報旗でしたが、惜しくも優勝できず、準優勝になりました。大会を通してチームの団結が増し、大会前よりもいいチームになったと思います。特に準決勝では、6点差からチームの応援などで打線が勢いを増し、逆転できました。日頃の練習での粘りがでたと思います。ろうきん旗に向けて、もっと頑張っていこうと思います。



### ★ 鶴指少年野球部 推薦選手 山下 誠健(ヤマシタ セイケン)

準決勝では6回で6点差が開いていたのですが、後に続くバッティングを意識して次の打者に回しました。そして、チームが一丸となり諦めない気持ちが結果へとつながったので、見事サヨナラ勝ちをしました。決勝戦では残念ながら負けましたが、監督、コーチのもと諦めず、粘り強く、野球が出来ました。立派な球場で野球をさせて頂いたこと、球場に来ていた沢山の方から応援をして頂いたことを感謝しています。



### ★ 鶴指少年野球部 監督 橋本 英樹(ハシモト ヒデアキ)

選手たちの粘り強さ、仲間を信じ、最後まで諦めないという、強い気持ち、選手、一人一人が大きく成長し、必死に頑張った、日報旗でした。本当に感謝です！ただ、優勝まであと一歩だっただけに、本当に悔しい準優勝ですが、いつまでも、下を向いてはいられません。6年生と野球が出来るのも、あと4ヶ月！しっかり、前を見据えて、個人力のアップ、チーム力のアップを掲げ、選手たちと更に上を目指し、全力で野球に取り組んで行きたいと思います。